

《 緊急通報システム電池交換マニュアル 》

工程	受信側① (野殿西町西消防署4階)	受信側② (岡山市保健福祉会館9階)	作業班(高齢者宅)	備 考
1	西消防署通信センター内の緊急通報システム用パソコン右上の切替スイッチを4箇所、指令台から緊急通報システム側に切り替える。			休憩等でその場を離れる時は必ず指令台側に切替してください。
2			電池交換の場合は、電池をNTT製3箇所(本体・受信機・ペンダント)、富士通製2箇所(本体・ペンダント)交換する。 設定変更は、保守系(ペンダント不良、電池切れ等)の通報先電話番号を設定変更する。 緊急(非常)ボタンを試験押下。	※電池交換中は、電源は通電した状態で行って下さい。
	①SL6, 8号の場合 対象者の画面が自動的に表示され、電話器1(NTT用様態電話機①)が鳴り受話器をあげると機械音声によりID番号、通報種別が告げられ、その後作業員との通話になるので正しく入電したことを伝える。 ②HNC(富士通製)の場合 対象者の画面が自動的に表示され、電話器(富士通用様態電話機)が直ぐに鳴り受話器をあげると機械音声によりID番号、通報種別が告げられ、その後作業員との通話になるので正しく入電したことを伝える。	パソコン画面に、正常に緊急通報の表示がされるかを確認する。 表示が出た場合、作業班員に伝える。		正しく入電しない場合、確認して機械の故障と判断される時は、症状を高齢者福祉課まで連絡してください。 パトランプが鳴動したらとめてください。
4			救急マーク(+マーク)を消すために取消しボタンを押下。	高齢者にも誤作動した時には取消しボタンで解除することを説明してあげてください。
5	ペンダントの試験も工程3と同様に実施する。	ペンダントの試験も工程3と同様に実施する。	工程3, 4と同様にペンダントの試験を実施。正しく入電するかどうかを確認。	ペンダントを紛失している場合は、その旨高齢者福祉課へ連絡してください。
6			作業終了。次の場所へ移動してください。	
7	当日の作業が終了したら4箇所の回線を必ず指令台側に切替え直してください。			

注) 1. 交換日報は毎日提出してください。

2. 電池交換していない人の通報が入ったら、消防署で受信確認を行っている者は消防の職員へ、保健福祉会館で作業を行っている者は高齢者福祉課の職員へ、その都度連絡してください。

3. 作業開始と作業終了時には高齢者福祉課に連絡してください。

高齢者福祉課在宅支援係
電話:803-1230(直通)
担当:竹中
内線:5957